

学校施設改築・長寿命化改修計画 との関連について

学校施設を取り巻く状況①

府中市の公共施設全体に占める学校施設の割合

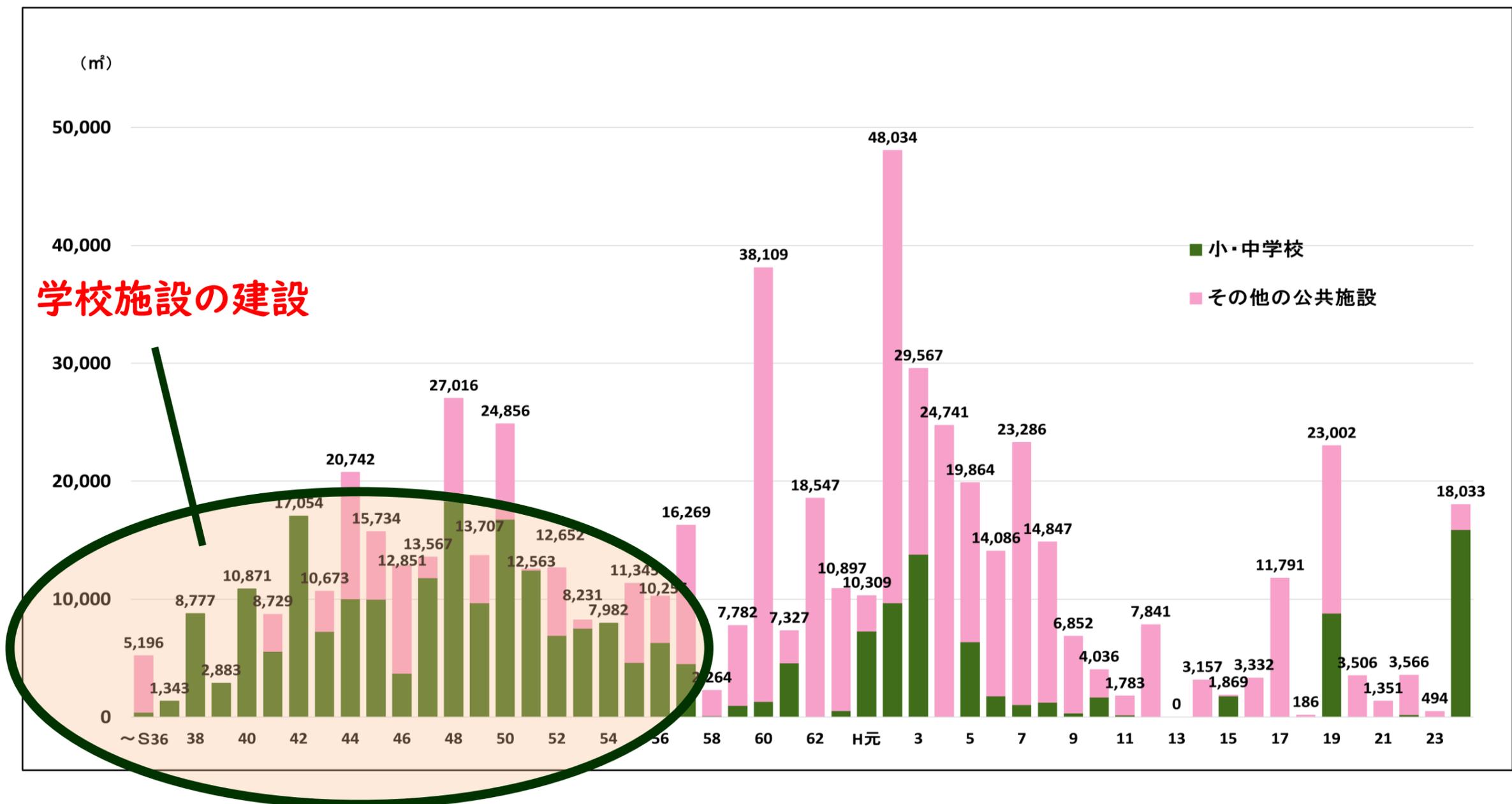


出典：府中市公共施設マネジメント白書（平成24年度版）

学校施設を取り巻く状況②

府中市の公共施設の建築年度

⇒学校施設の建築はS 40年代～S 50年代に集中

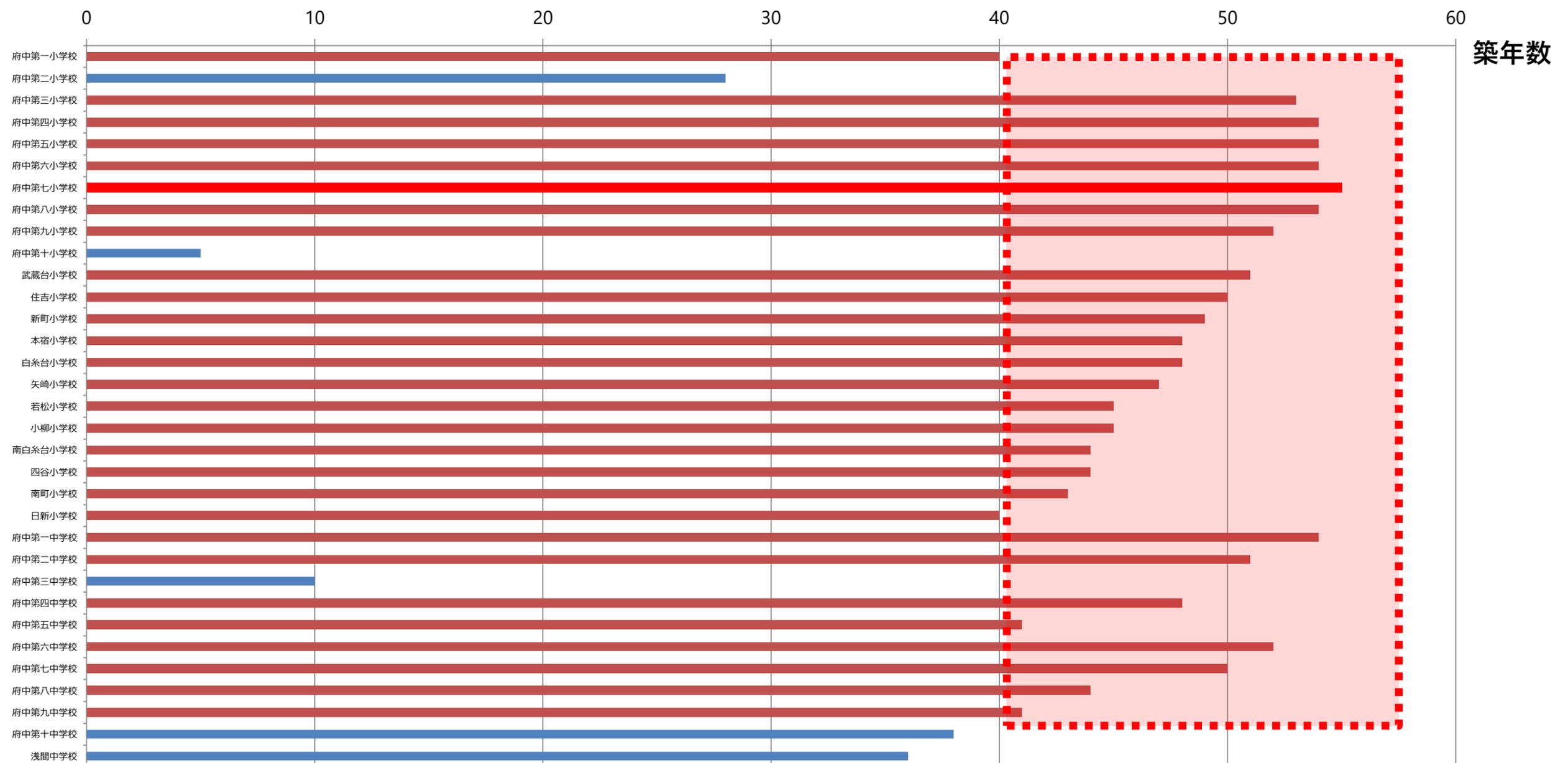


出典：府中市公共施設マネジメント白書（平成24年度版）

学校施設を取り巻く状況③

各学校施設の最も古い棟（校舎）の築年数

⇒二小・十小・三中・十中・浅間中以外は築40年以上



※平成28年度末時点

(注) 府中第五中学校は、平成24年度に普通教室棟等の改築が完了しているが、一部の棟で改築が未実施のため、未改築の棟の築年数を掲載

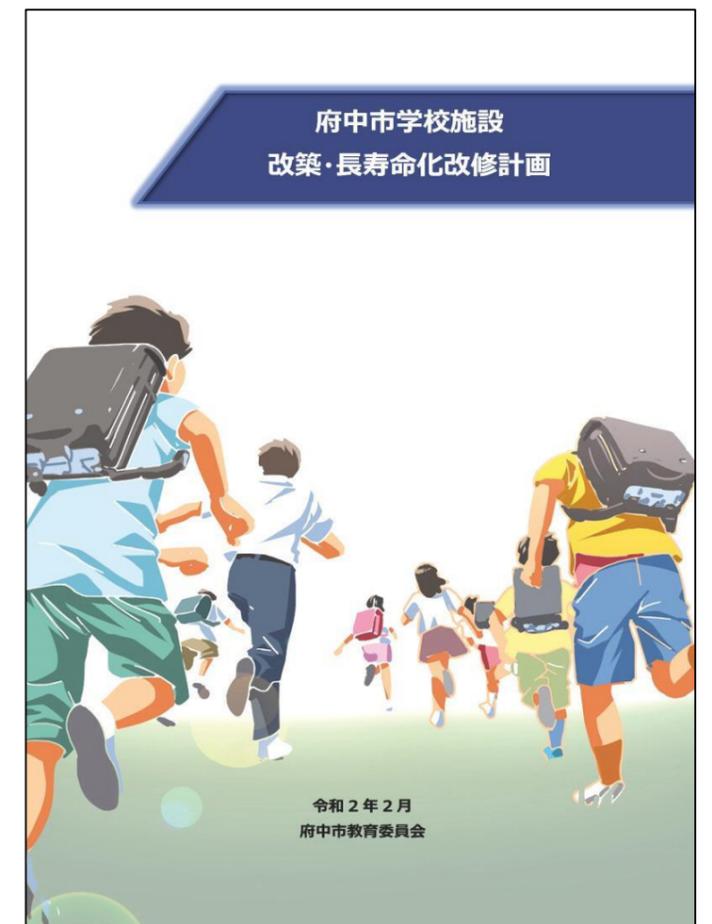
府中市学校施設改築・長寿命化改修計画とは

児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、
老朽化対策が重要かつ喫緊の課題

- ①市全体の老朽化対策の進め方を定め、**計画的かつ着実に実施**
- ②市として整備方針を定め、できる限り公平な教育環境を確保

令和2年2月

府中市学校施設改築・長寿命化改修計画の策定

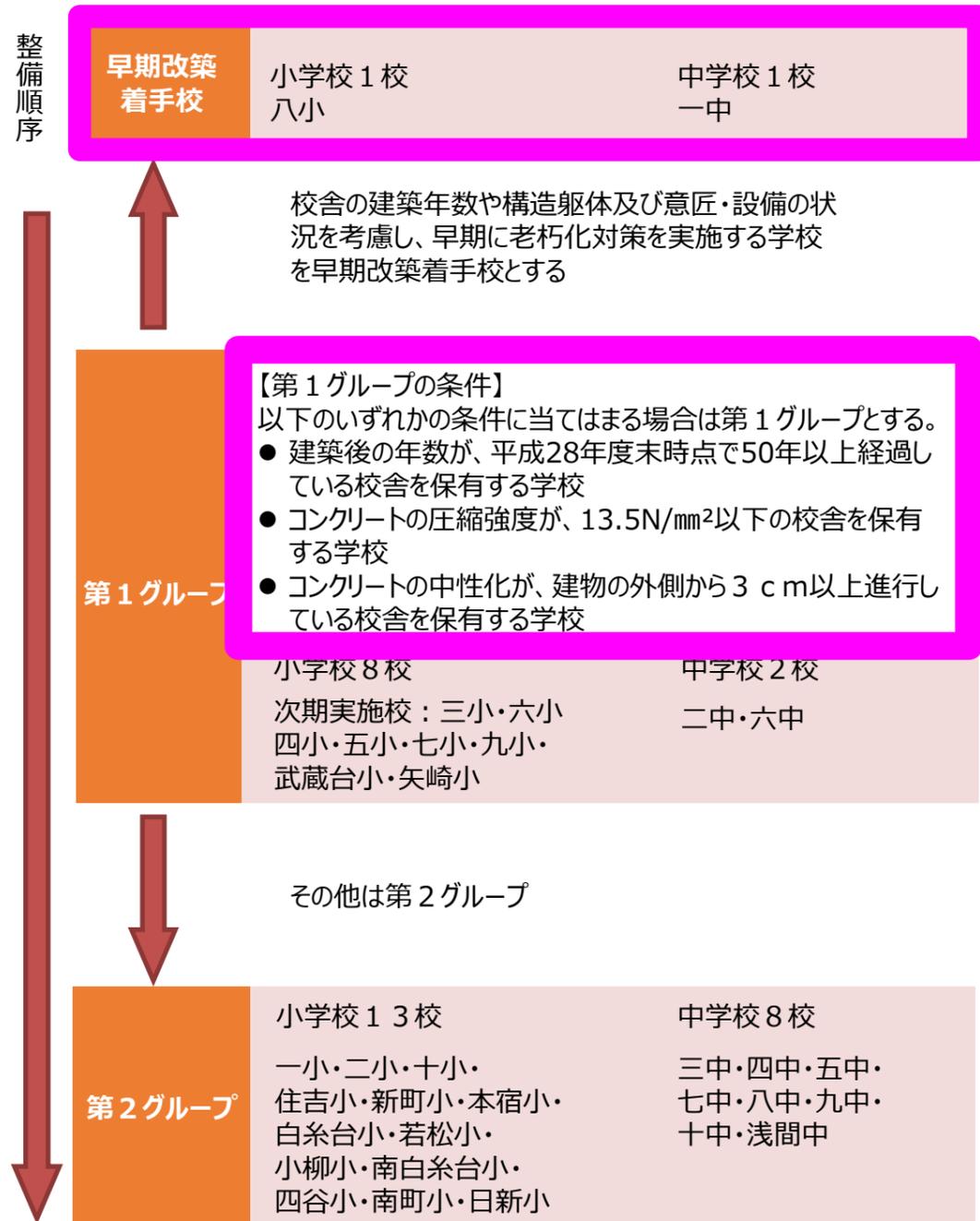


（1）学校施設の老朽化状況を踏まえた老朽化対策(計画68^ハ-ジ^ヅ～79^ハ-ジ^ヅ)

（2）学校施設の整備スケジュール(計画81^ハ-ジ^ヅ～84^ハ-ジ^ヅ)

●整備順序におけるグループ分け

学校施設の整備は、学校単位で分類を行い、老朽化対策の優先度は、早期改築着手校、第1グループ、第2グループの順となります。



●整備スケジュール

2年ごとに2校のペースで学校施設の整備を進めていきます。
 1校の改築に係る整備期間を、設計期間で2年、工事期間で2年の4年と設定します。

